



# 学 校 便 り

## 7 月号

校長 赤尾 眞司



### 軽井沢移動教室で見つけたこと

校長 赤尾 眞司

6月5日から8日までの4日間、6年生は「軽井沢移動教室」を実施しました。移動教室で子供たちは、普段の学校生活では味わえない様々な体験をしてきました。そして、一人一人が大切な思い出を作ることができました。12日の全校朝会で報告した、移動教室での活動の一部を紹介します。

(文章は一部抜粋しています)

1日目は妙義山という山に登りました。少しこわかったけれど、頂上から見る景色はすごくきれいでした。2日目は東麓ノ登山という山に登りました。妙義山よりすごく高い山で、こわかったけれどとても景色がきれいでした。どちらも頂上から見る景色はすごくきれいで感動しました。そして頂上に着いたときは、達成感を味わいました。

1組 君

私は1日目にベルデの森でトレッキングをしました。ベルデの森では、食物連鎖があることを教えてもらいました。また、植物は人間には必要のない二酸化炭素を吸収し、人間に必要な酸素に変えてくれるので大切だということも学びました。私は、ベルデの森でトレッキングをして、植物などの自然を大切にすることを学びました。

2組 さん

僕は、2日目の林業体験で、自然の大切さを学びました。各班、丸太が用意されており、自由にコースターや写真立てを作りました。僕は写真立てを作りました。今まで関心さえなかった森がすごいと思い、地球の大切な役目と少しずつ感じてきました。

1組 君

3日目の夜に星空観察をしました。その日はあいにくの雨で、実際に星空を見ることができませんでした。でも、体育館を使って、この日見ることができた星や星座、日食・金環日食、銀河のことや命の大切さを学びました。

1組 さん

3日目にカーリングというスポーツをやりました。最初にストーンをすべらせる練習をしました。氷ですべって転びそうになりました。でも、円の中に実際に入れる練習をしたら、入ったのは僕だけでした。だんだん慣れてきてゲームをしました。3対2で負けてしまったけれど、楽しく仲良くできました。

2組 君

移動教室は、集団での生活の楽しさを学ぶ場でもあります。集団生活は、これから子供たちが社会に出て、社会の中で生きていくために必要なことです。自分がどのような役割を果たせばよいのか、友達と楽しく生活するためにはどうしたらよいのかを学ばせることが、移動教室での大きなねらいの一つです。

私たち6年生は「先を見て素早く行動する」ということを目標にして、3泊4日を過ごしました。今年は、それぞれの部屋で室長中心に、持ち物チェックやそうじなど協力し、班のめあてを達成することができました。一人一人のめあて、班のめあて、学年のめあてを達成することと同時に、他の学校との交流も楽しむことができ、よい思い出をたくさん作り、幕を閉じることができました。

2組 さん

今回の移動教室では、去年の岩井移動教室の経験を生かして、田中さんの文章に代表されるように、集団の中で自分の役割をしっかりと果たそうとする姿、がんばろうと努力する姿がたくさんありました。登山の時には、友達を助け励まそうとする姿が見られました。また、林業体験やレク、カーリング体験、ベルデでの生活の中では、友達と協力して、楽しもうという努力する姿勢が感じられました。お互いのあいさつ、お世話になった方へのお礼の言葉もしっかりできていました。

ベルデでの4日間、一人一人が友達のことを考えた行動を心掛けるようになっていくことで、友達といることが楽しい、一緒に行動したり遊んだりすることが楽しいと感じられるようになってきたのではないのでしょうか。

帰校式での子供たちの顔は、満足感にあふれているようでした。

